

第34回（令和6年3月10日）向け（理論添削問題）

解答締切日：令和6年2月24日

返却日：令和6年3月5日まで（順次）

ライブ添削会：令和6年3月3日（日）19:00～

各200字以内で答えなさい

<採点の考え方>

加点要因→キーワード（文脈の中で正しさに欠ける場合は減点）

キーワードが合ってなくても同様の意味を示せば問題なし。

減点要因→主語と述語の非対応、論理構成の誤り（原因と結果の不整合等）

建設業経理士試験では、キーワードや法令用語であっても正式な用語を強く求められるわけではないことを意識してください。極端に言うと、間違っていれば主語と述語だけでも2～3点程度はもらえるということです。（例：減価償却の本質→減価償却とは取得原価を配分する手続きである）。試験では絶対にあきらめないでください。

過去の添削を行った感想⇒主語述語の対応関係が明確でない解答が数件ありました。記入した後に必ず対応関係を確認してください。また解答を列挙する場合は、できれば①②③などで箇条書きにした方が見やすくなるので試してみてください。

またテキストの内容をそのまま記入されている方も数人おられましたが、できるだけ自分で考えて自分の言葉で書く練習をしてください

あと、しっかりした回答にするためには、記述内容を「なぜ」「なぜ」「なぜ」の観点から理由を記述すると良いと思います。

<例>

減価償却をする→（なぜ）適正な期間損益計算をする→（なぜ）投資家の意思決定に資するため

<財務諸表>

- ① 包括利益の意義を述べよ、
- ② その他の包括利益の具体例を述べよ

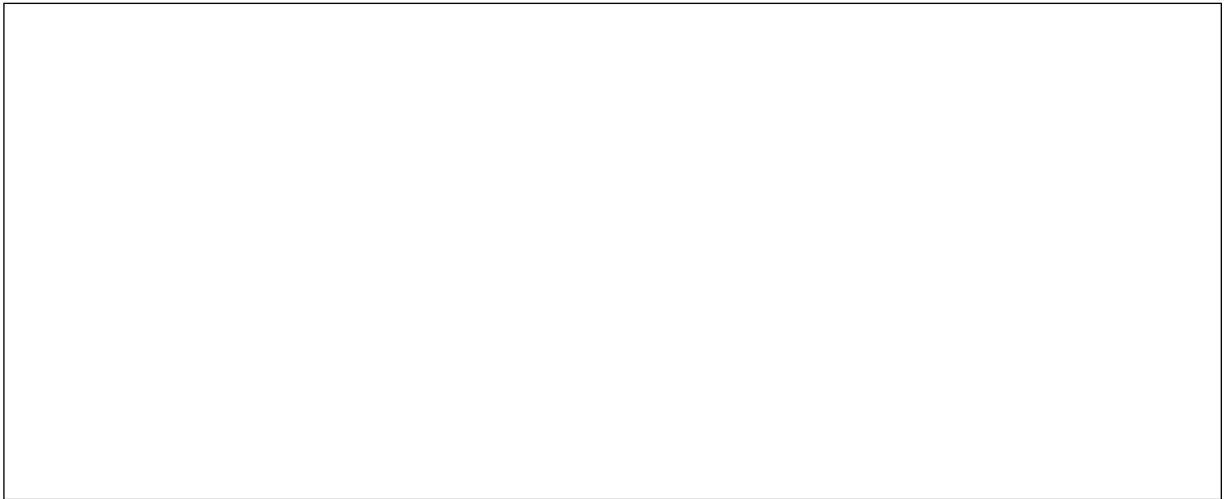
- ① 資産除去債務の意義について述べよ
- ② 資産除去債務の発生時および決算時の会計処理について述べよ

<原価計算>

- ① 変動費と固定費について述べよ
- ② アクティビティコストとキャパシティコストについて述べよ



借入金の利子は原価性を有するか、一般的原価計算慣行と建設業固有の事情の両方の観点から解説しなさい



<財務分析>

- (1) ①安全余裕率に関して2種類の計算方法と、それぞれの場合の評価方法について述べよ
②資本回収点分析について述べよ

- (2) ①資金の概念について述べよ
②資金変動性分析の必要性について述べよ